



松 風



■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑120
 ■発行人 安藤伸樹

は じ め に

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、世の中がすっかり変わってしまいました。本学の様子も当然ですが、2020(令和2)年4月の緊急事態宣言が出されて以降半年程度の期間、厳格な入構規制が敷かれたので、キャンパス内には一部の教職員以外はおらず、教室などにはほぼ無人の状態が続きました。この索漠とした様子はいまだに強く心に残っています。

校友会はしばらくの間対面での活動を自粛し、新しい形としてオンラインでの幹事会などを行ってきました。1969(昭和44)年の校友会発足から53年を迎えている現在、改めてコロナ禍を記憶に残しておきたい。

巻 頭 エッセイ

「微熱が・・・」

2022年6月下旬からの「夏日・猛暑日、豪雨など」、昨今は、異常気象ではなく当たり前の夏の天候のような状況と、第7波の新型コロナ感染拡大。

自己管理を再徹底とは言っても、どこで・どうかかるのか？ いつ・かかってもおかしくない？ 状況の中で、気がつけば8月は、もう終わりですね。

皆さんは、楽しく思い出に残る日を満喫したでしょうか？ さて、私の8月は、人生で記憶に残る何とも言えない日々でした(若干、自業自得ですが)

その顚末をお話しましょう。

6月初めに、今年は北海道6日間の旅(道東地区：稚内～網走～根室半島～摩周湖～札幌)を計画し、ホテル・飛行機・レンタカーの予約も準備万端。(一千キロの旅)

◇7月29日(金)

宗谷岬を目指し、飛行機で一路稚内へ。

到着したのが14時30分。ちょっと肌寒い感じでしたが、別段気にすることなくホテルへチェックイン。(移動中機内がちょっと涼しかった)

稚内には、知人が住んでいるので、3年ぶりに夜は、ジンギスカンBBQで会食。

明日からの長距離ドライブのこともあり、ちょっと控えめな飲食。

ホテルには、21時に戻り、温泉につかり、早めの消灯。

「ここまでは、良かったのですが・・・」

夜中に3度目覚め、ちょっと汗かき。

◇7月30日(土)

朝5時に目が覚め、何かだるい感じで、体温測ったら「37.1度」

普段は36.6度くらいなので、まあまあ旅の興奮と寝覚めの悪さが原因で微熱と考えて、早めの朝食をとり、9時にレンタカー店に行き、一路サロマ湖～網走湖畔に向かい、300キロのドライブ。(気温26度くらいで、天気良好)

昼頃になって、体温が「37.4度」くらいまで上昇。ちょっと風邪っぽいかな、これといって体調に問題なし。

ただし、万が一を考えて、薬局で「冷えピタ・龍角散顆粒・風邪薬・解熱剤」を購入。

夕方、網走湖畔の温泉ホテルにチェックイン(体温は、冷えピタの影響もあり、問題なし)

夜は、個室にて晩飯。熱燗の2合でも飲んで、寝たら、朝はけろっとしているだろうくらいの感覚で、早めの消灯。(風呂は、入らず)

◇7月31日(日)

朝4時に目が覚めて(網走地区は、3時40分に日の出)、やあやあよく寝たなという感じで、体温を計ったら「37.5度」。

これは、さすがにやばいかも・・・と思い・・・いろいろ算段(迷惑かけないように)して、6時20分にチェックアウト。(このホテルは、朝飯が最高に美味しいのに、・・・フロントで言われました)

ここから、150キロ移動し、釧路空港9時55分の東京行きで羽田に戻りました。(出発25分前に、ぎりぎりチケット購入できました)

すべての予約はキャンセル。レンタカーも釧路で乗り捨て。

着いた東京は、猛暑で、心身ともにぐったり。15時に帰宅後、抗体キットで検査したら、結果は、「不明」。

◇8月1日(月)

早朝会社に連絡し、「PCR検査キット」を送ってもらう。

病院5か所に電話をかけまくってもダメ(拒否)

保健所もかからず。

何かあったら大変なので、「この日から、気がつけば15日まで禁酒」

◇8月2日(火)

・・・私の68歳の誕生日(札幌での祝いも中止)、

PCR検査キットで検査し、郵送。

◇8月3日(水)

・・・すでに、体温は、「37.2～5度」辺りでしたが、大人しく自宅療養。

◇8月4日(木)

・・・陽性判定(ちょっと遅すぎ)。

それから16日まで、夫婦で静かに自宅療養でした。

濃厚接触者のかみさんは、熱・咳が出たが、判定は、「陰性」でしたが、多分陽性なんだと思います。

◇8月17日(水)に会社に復帰。

(しばらくはだるさがありましたが、熱は「38度が一日」あとは、「37.5度」付近。)

気がつけば・・・今日は25日。

ゴルフも中止、宴会も不参加ど・・・まさか誕生日の前日に症状が出るとは？

こんな感じの夏休みでした。

現在は、「絶好調の80%」くらいです。

気を引き締めろ・・・という天からの声・・・記憶に残る68歳のスタートです。

(軽い症状で済んで良かったと思います。)

皆さんも、元気でお過ごしください。

9期 北海道の熊



2020(令和2)年1月に、国内で新型コロナウイルスの感染が確認されてから約2年半が経ったが、未だ完全に収束していない。松風14号から続いて、時系列で書き留めておくことにする。

2020年7月下旬に「第2波」のピークが到来したとみられたが、8月に入っても猛威を振った。お盆休みシーズンを迎えた8月8日、JR東京駅の新幹線ホームは例年に比べ閑散としていた。JR旅客6社によればこの時期、新幹線・在来線特急の主要線区の利用者は前年同期比で76%減の355万人で、1990年以降で最低。高速道路のUターンの渋滞もまばらだった。

8月28日に安倍首相が健康上の理由により辞任を表明、その後総裁選に注目が集まり、新型コロナの話題が報じられることは少なくなったが、各地では不安を抱かせる傾向がみられた。

国内全体の新規感染者数は9月に入っても減少傾向にあったが、宮城や群馬、千葉では増加傾向に転じ、京都や大阪でも増加の兆しが出始めていた。感染者の傾向は、「若者」や「歓楽街」から、全年齢層、全域に変化していた。

10月の行楽シーズンを迎え、「Go Toキャンペーン」を拡

大し、人出が増えていた。このころが第3波の兆しだったと後に位置づけられることになる。世界ではフランスやドイツの感染者数が過去最多を更新し第2波に突入。ロックダウンに踏み切る動きがみられた。

11月に入り、新型コロナウイルスはまたもや猛威を奮い始めた。感染者数が各地で過去最多を更新。月初めには164人だった重症患者は、月末には約3倍の493人となり、医療体制への不安が高まった。今年度第2回幹事会は第1回と同様に書面審議となる。

師走に入った日本で、感染状況は厳しさを増していた。政府が12月半ばまでの集中的な対策を訴えた「勝負の3週間」は敗北に終わり、北海道など地方でクラスターが深刻化していた。ワクチン接種が海外で始まったが、英国で新たに発見された変異株が国境を越えて広がりを見せていた。コロナ禍で激動した2020年も残りわずかとなって、これまでよりも感染力が強い変異株に対する感染防止という課題が各国に、そして日本も喫緊の対応を迫られることになる。12月25日夜、厚生労働省から「英国の変異株の患者が、空港検疫で確認された」との発表があった。これを受け「Go Toトラベル」が28日、全国で停止された。また同日から1月末まで外国人の新規入国が一時停止された。都内の新規感染者数はついに大

みそかに1353人と、初めて4桁の大台に乗り、年越しのカウントダウンイベントの自粛も相次いだ。コロナ禍で揺れた1年は不安と混乱の中で暮れていった。

2021年が訪れた。国内では感染拡大の第3波がピークに達しつつあった。緊急事態宣言が首都圏1都3県に再発令され、新年早々重苦しい空気が社会を覆った。欧米ではワクチン接種が着々と進む中、政府は2月下旬までに接種を始めると表明し、ワクチン担当相を任命。しかしこのころ、英国由来の変異株の国内での市中感染が始まった。

2月12日、ファイザー製ワクチン約40万回分を乗せた航空機第1便がブリュッセルから成田空港に到着した。17日から医療従事者約4万人へ先行接種がはじまった。例年2月に開催予定の第3回幹事会も対面ではできず書面審議となる。

首都圏では平年より早い桜が見ごろを迎えた3月21日、2度目の緊急事態宣言が全面解除された。自粛疲れの人々の間で「緩み」もみられ、変異株が主流となる感染の「第4波」が足元に迫っていた。

4月新年度を迎え、手探りでコロナとの共存を始めようとする日本列島。だが、感染力が強い英国型の変異株が関西地区で急速に広がっていた。遅れて首都圏でも変異株への置き換えが進み、医療現場を圧迫していった。4月25日緊急事態宣言が発令される。

コロナ禍で迎えた2年目の大型連休。各地の人出は急増し、国民の我慢の限界が露呈した。政府は、緊急事態宣言を11日から31日まで延長を決定し、「1日100万回」のワクチン接種を目標にすると表明。24日には東京、大阪に自衛隊運営の大規模接種センターがオープン。予約はたちまち埋まった。2021年度第1回幹事会は17日に初めてオンラインで開催された。

6月20日緊急事態宣言が沖縄を除く9都道府県で解除され、一部が蔓延防止等重点措置（以下、蔓防という）。ワクチンの職域接種は、肝心のワクチン確保でつまづき、国民の政権不信へとつながった。海外ではインド由来の変異株「デルタ株」が主流となり始めていた。

1年遅れの東京五輪が開催される7月を迎え、感染は第5波となって国内を襲い、東京都には4回目の緊急事態宣言が発令された。五輪開催の是非、観客の有無など世論は分断された。23日、五輪の開幕を迎え、列島は日本人選手の金メダルラッシュに沸いたが、29日国内感染者が初めて1日1万人を突破し、政府は8月22日が期限の東京などへの宣言を8月末まで延長を決定した。

「ARIGATO」。初めて原則無観客で行なわれた東京五輪は、8月8日閉幕した。そのあとに「第5波」のピークが訪れ、8月13日の新規感染者数は2万を超え、20日には1万5975人となり、医療体制は更なる苦境に陥った。

9月5日、東京五輪パラリンピックが幕を閉じた。盛り上がりを見せたパラリンピックだが、政治の世界では栄養俤首相が、同月末で任期満了を迎える自民党総裁選への出馬を断念した。コロナウイルス感染拡大に伴い、自宅療養中に死亡する患者が急増するなど、世論の不信感のはもや拭いようがなかった。

一方、ワクチン接種は順調に進み2回目接種完了は13日までに人口の5割を突破。第5波についてピークは過ぎたとの

見解が専門家から示され、また3回目接種が年内にも実施の見通しとなった。これにより政府は緊急事態宣言と蔓延防止等重点措置の月末での全面解除を決定した。29日岸田文雄氏が第27代自民党総裁に選出される。

世界に目を向けると、感染力の強いインド由来の変異株「デルタ株」の感染拡大を受け、米国・英国・仏・伊など各国でワクチン接種を義務付ける動きが相次ぎ、抗議デモなどが頻発した。

10月となり第5波が収束し、日本は社会経済活動の正常化へ向け舵を切った。ちまたでは「今年は忘年会を」との声も聞かれはじめた。この時期に第2回幹事会を首都圏在住者は対面、遠方在住者はオンラインで参加するハイブリッド型で開催した。11月22日には1日の新規感染者数が全国で112人となり、この年最少を記録した。しかし、24日南アフリカで新たな変異株「オミクロン株」が出現したことがWHOに報告された。オミクロン株は欧州で相次いで感染が確認され、各国は水際対策を強化した。日本政府も29日、外国人の新規入国を停止したが、30日成田に入国したナミビア人のオミクロン株感染が確認された。

12月6日、日本人で変異株オミクロン株の感染が初めて確認された。国内では3回目ワクチン接種がスタートしたばかり。年末の帰省ラッシュも始まり、年明けの感染拡大が目前に迫っていた。

中国当局が「原因不明の肺炎」として、新型コロナウイルス感染症の発生を公表してから2年が経過した2021（令和3）年12月。英国由来の「アルファ株」、インド由来の「デルタ株」そして感染力の強い変異株「オミクロン株」が急拡大した。

2022（令和4）年を迎えた日本は、「オミクロン株」の猛威にさらされた。在日米軍基地の周辺などで、新規感染者数の増加が顕著になり、一気に「第6波」に突入した。29日には8万4千人に到達、第5波の2倍に達した。

2月3日、国内の新規感染者数は1日10万人を突破した。蔓延防止等重点措置の拡大や延長が決まる中、中国では4日に北京冬季五輪が開幕した。日本選手勢は史上最多18個のメダルを獲得する活躍を見せた。そうした中、24日にロシアがウクライナへの侵攻を開始。コロナと闘ってきた世界は、新たな脅威とも対峙することとなった。

このため、第3回幹事会はオンラインで開催せざるをえなかった。

3月に入り、ワクチン3回目接種がようやく加速するが、新規感染者数は高い水準で一進一退。それでも卒業式等のセレモニーは対面形式が増え、蔓延防止等重点措置は21日まで、すべての地域で解除された。そして「行動制限」のない3年ぶりの春を迎えるのであった。

第2波のピークとなった2020年7月から第6波を経験し、2022年3月迄を振り返って。対面形式の支部総会の開催はすべて見送られてきた。しかしここにきて国内でも「屋外でのマスク着用は不要」と段階的に緩和する考えが政府から示された。

2020年度 流通経済大学校友会 幹事会での決議および承認事項

第一回校友会幹事会 (書面審議)

日時：2020年6月14日

場所：書面審議

出席者：回答数：39

未回答数：3

第一回幹事会は5月30日に開催予定でしたが、コロナ禍の影響で一同に集まる会合を開催せず、特別処置として書面審議とし、6月14日までの電子メール・FAXによる返信をもって決議頂きました。結果を以下のとおり報告いたします。

記

第1号議案 前回議事録(案)確認

賛 (39) 否 (0)

第2号議案 2019年度校友会決算報告

賛 (39) 否 (0)

第3号議案 オンラインによる幹事会開催について

一各幹事のWiFi環境の調査—

可 (22) 不可 (17)

その他 近況報告など

「コロナ禍がいつまで続くのか不安」といった声が多く寄せられた。また「外出自粛で予定していた旅行をキャンセルした」「テレワークなどで自宅待機が長くなり“コロナ太り”になった」という声もあった。

反対に「在宅勤務を利用して自宅で筋トレを始めた」「電車から自転車通勤へ変えた」「大豆を食生活に取り入れ、肝機能が改善した」といった健康維持に努めている声もありました。仕事関連では「宅配関係の仕事が非常に忙しかった」ようです。

「早くコロナ禍が収束し幹事会・支部総会が開催できることを願っている」など、収束を願う声が大多数でした。

新型コロナ禍における、 大学への緊急支援(寄付)に関して

大学は秋学期より入構禁止処置の緩和、対面授業の開始に向けて、三密を避ける準備・対策に迫られております。校友会としても大学と連携し、学生・教職員が安心してキャンパスライフを過ごせるように次の緊急支援(寄付)を実施いたします。

なお、当該支援は納期優先のため発注をかけており、幹事の皆様へは書面審議による後伺いとなったが、6月30日までの電子メール・FAXによる返信をもって決議頂きました。

結果を以下のとおり報告いたします。

緊急支援議案

・龍ヶ崎・新松戸キャンパス学食・サロンへ飛沫防止のための衝立(アクリル板)の設置

・予算措置：コロナ禍で中止となった校友会行事予算にて対応する

賛 (34) 否 (0)

その他意見等

「急を要する事案に対する素早い対応に賛成」「後輩たちがコロナ禍で挫折することの無いように校友会から支援をしてほしい」など、また大学のキャンパス再開に期待する声も多数見られました。

第二回校友会幹事会 (書面決議)

日時：2020年11月24日

場所：書面審議

出席者：回答者数：32

未回答者数：10

第二回幹事会は11月14日に開催予定でしたが、新型コロナ「第3波」の警戒中のため書面審議とし、11月24日までの電子メール・FAXによる返信をもって決議頂きました。結果を以下のとおり報告いたします。

第1号議案 前回議事録確認

賛 (32) 否 (0)

第2号議案 正課支援・新RKUSピ リッツ支援について

賛 (32) 否 (0)

第3号議案 その他報告

ご意見・近況報告等は割愛

第三回校友会幹事会 (書面審議)

日時：2021年3月10日

場所：書面審議

出席者：回答者数：38

未回答者数：5

第三回幹事会は2月27日に開催予定でしたが、コロナ禍の影響で一堂に集まる会合を開催せず書面審議とし、3月10日までの電子メール・FAXによる返信をもって決議頂きました。結果を以下のとおり報告いたします。

第1号議案 前回議事録確認

賛 (38) 否 (0)

第2号議案 2020年度校友会収支決算 見込み(案)

賛 (38) 否 (0)

第3号議案 2021年度事業計画(案)お よび予算(案)

賛 (38) 否 (0)

50周年記念事業継続計画(案)通常予算外

2021年度収支予算書(案)

コロナ禍における学生支援活動について*

第4号議案 地域支部長人事

第5号議案 Webミーティングにつ いて

参加希望：19 不参加：19

* 第三号議案「コロナ禍における学生支援活動について」は、幹事の皆様から頂いた意見を参考に、Webミーティング等で意見交換いたします。内容は追って共有することとした。

オンライン会議開催 (2020年度第三回幹事会関連)

日時：2021年3月13日（土）

10：30～12：20

場所：オンライン会議

出席者：14名

2020年11月にご逝去された飯田克行前茨城支部長に追悼の意を表し、心からご冥福をお祈りするため、黙祷を捧げました。

安藤伸樹会長より、コロナ禍が続く中、2021年度事業は基本的には今年度と同様の予算枠組みとする、との前置きの上で「コロナ禍における学生支援活動について」は、別途予算を計上したいとの説明がなされた。続いて具体的な内容について、既に書面で回答のあったアイデア・意見を参考に活発な討議がなされた。

安藤伸樹会長からは、学生達がキャンパスに戻ってくるタイミングを見計らって、龍ヶ崎と、新松戸の学食において、一週間のうちに1～2日『校友会スペシャルランチの日』（仮）を設けて、安くて、美味しく、ボリュームもあり、栄養もあるランチを提供できるようにしてはどうか。また、鳥谷部副会長からは、いつ終わるとも知れな

い新型コロナ感染環境で、大学卒業生のOB会（校友会）が、学生食堂を活用して、現役学生に元気応援をする施策を展開しているという明るいキャッチフレーズで展開していくことが良い、との意向が述べられた。どのようなやり方ができるのか、やり易いのかを関係部署と確認したうえで、次回のWeb幹事会にてどのように実施するのか、決議することとした。

2020年度事業報告

■幹事会関係

5月30日 第1回幹事会（書面審議）

- ・2019年度収支決算および監査報告
- ・オンラインでの幹事会を検討

11月9日 第2回幹事会（書面審議）

- ・正課支援・新RKUスピリッツ応援奨学金申請状況の報告
- ・今年度校友会事業計画について（支部総会はコロナ禍により全て中止）
- ・その他報告

2021年2月26日 第3回幹事会（書面審議）

- ・2020年度収支決算見込み
- ・2021年度事業計画及び予算
- ・50周年記念事業継続計画（案）
- ・2021年度収支予算（案）



- ・コロナ禍における学生支援活動について
- ・地域支部長人事
- ・オンライン会議の開催について

■大学・課外活動援助関係

7月8日

- ・飛沫感染防止用のアクリル板一式を龍ヶ崎・新松戸キャンパスの学食・カフェに寄贈

10月7日

- ・HPリニューアル作業完了

11月6日

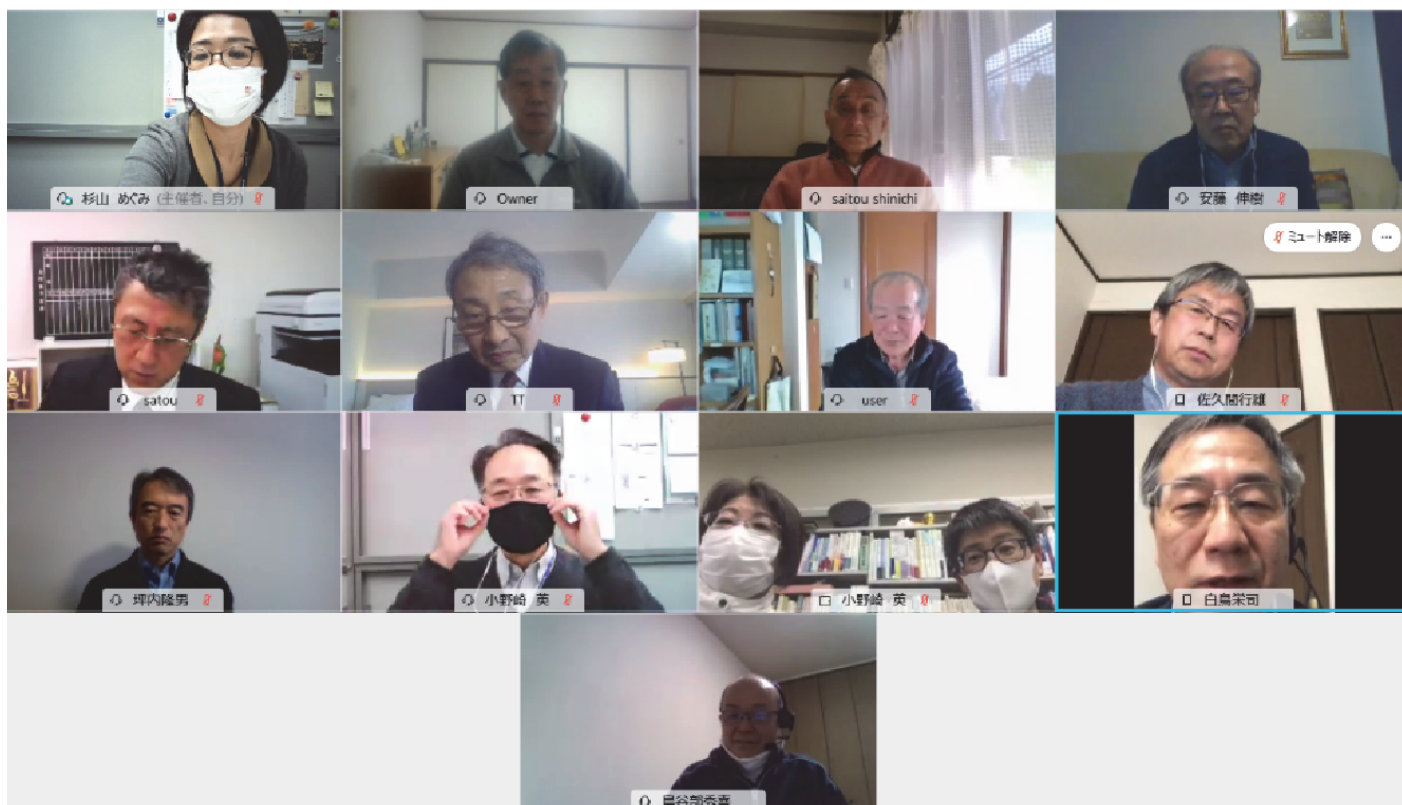
- ・「ソーラー電波デザイン時計」を体育館跡地に寄贈

2021年1月22日

- ・社会学科卒論発表会副賞援助

2021年3月12日

- ・卒業生への記念品援助（後援会と折半）



2021年度 流通経済大学校友会 幹事会での決議および承認事項

第一回校友会幹事会

日時：2021年5月29日（土）

10：00～12：00

場所：オンライン会議

出席者：27名（参加者リストは割愛）

今年度第一回幹事会の開催にあたり、4月から新学長に就任した上野裕一先生の紹介、ご挨拶をいただいた。続いて同じく4月から副学長へ就任した龍崎孝先生の紹介、今次の第3号議案「食SHOKUプロジェクト」について詳細な説明をいただいた。

次いで議長に安藤伸樹会長が就き、初参加の青山孝夫（5期）新茨城支部長と吉野龍司（28期）新埼玉支部長の紹介があり、それぞれご挨拶をいただき、議事に入った。

議 事：

第1号議案 前回議事録(案)確認

2020年度第三回幹事会議事録、Webミーティング議事録について確認が行われた。

第2号議案 2020年度校友会収支決算報告(案)について

- ・決算書(案)、財産目録
- ・校友会会計監査報告

決算報告書、財産目録について監査した結果、全て適正に処理されており、2020年度決算報告書のとおり相違ないことを認める、と永井正監事から監査報告があり承認された。

第3号議案 コロナ禍における学生支援について

- ・「食SHOKUプロジェクト」への支援（寄付）
- ・通常事業計画(案)および予算(案)修正

3月13日に開催したWebミーティングで提案のあった「学食を利用した学生支援」をもとに、学生・教職員が主

体となって取り組む「食SHOKUプロジェクト」への援助金支援、そして2021年度通常事業計画および予算への追加が承認された。

報告事項

次回、第二回幹事会は11月13日（土）10：00からとする。

書記指名は、白鳥栄司幹事

長く校友会活動にご尽力いただいた日通学園理事・大学事務局長の赤石守氏（10期）が5月31日付けでご退職となる。

以上を以って、2021年度第一回幹事会のすべての議事を終了し、閉会した。

第二回校友会幹事会

日時：2021年11月20日（土）

15：00～18：10

場所：オンライン会議および新松戸キャンパス201教室

出席者：オンライン 13名、対面 17名（参加者リストは割愛）

第二回幹事会の開催はコロナ感染者が下げ止まりしている中、対面とオンラインでの開催とした。議事に入る前に、第2号議案 食SHOKUプロジェクト（以下「食プロ」という）について学生さん6名（内2名は動画）から春学期の活動報告を受けた。

次いで議長に安藤伸樹会長が就き議事に入った。

議 事：

第1号議案 前回議事録(案)確認

2021年度第一回幹事会議事録について事務局から説明が行われ、確認された。

第2号議案 「食SHOKUプロジェクト」進捗報告

「食プロ」に参加した学生さんからオンラインで、木村さん・立石さんは動画で報告を受けた。

飯田大葵さん（経営2年）

お弁当コンペ、撮影部隊の活動について

坂井颯太さん（自治行政4年）

カレー屋の経営でコミュニティづくり

亀崎晴さん（スポ健4年）

「食プロ」ロゴコンペ最優秀賞、ホームページ制作

正木菜々瀬さん（スポ健4年）

キッチンカーの広報動画作成、YouTubeでの公開

木村理沙さん、立石真琴さん（国際観光2年）

学食への新メニュー提案活動

第3号議案 RKUメールサービス利用の停止について

在学時に使用していたメールアドレスで、過去2年以上使用されていないアカウントについては6か月の事前通知後にサービス終了としたい、との説明があった。これに対し特に意見等はなく、承認された。

第4号議案 緊急事態宣言解除後について

解除後の各地の状況及び今後の支部総会開催について意見交換をした。

コロナの感染防止策を取りながら、可能であれば来年度には開催したいという支部がほとんどであった。開催の際は本部からでもできる限り参加し、活動を再開して行きたい。

以上をもって、2021年度第二回幹事会のすべての議事を終了した。

続いて、上野裕一学長からご挨拶を頂き、学食レパストにて懇親会を開催した。

■次回第三回幹事会

日時：2022年2月19日（土）

場所：報道では11月11日アフリカで新

たな変異ウイルス「オミクロン株」が発見され、日本国内の空港検疫でも感染者が確認されています。これは引続き様子を見る必要があるため、開催方法は追って連絡とした。

第三回校友会幹事会

日時：2022年2月19日（土）

10：00～11：45

場所：オンライン会議

出席者：27名（参加者リストは割愛）

今年度第三回幹事会の開催にあたり、安藤伸樹会長より新たなオミクロン変異ウイルスが猛威を奮っており、ようやく収束に向かいつつあるが高齢者や基礎疾患をお持ちの方は感染すると重症化する可能性が高いので気をつけて頂きたい。外出時のマスク着用と手指消毒は基本なので引続き実行してください、との話があった。

議 事：

第1号議案 前回議事録(案)確認

2021年度第二回幹事会議事録について修正・確認を行った。

第2号議案 2021年度収支決算見込み

事務局より昨年度と同様に2021年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、主な対面での活動は中止となった旨、説明があった。

第3号議案 2022年度事業計画(案)及び予算(案)

事務局よりコロナ禍が収束した場合を想定し例年通りの活動を盛込んで作

成している旨、説明があった。

幹事より今年度使わなかった予算はどのように保留するのか、今後どうするのか、との質問があった。使用しなかった予算は繰越金とし、何らかの形で使用する必要が発生した場合は幹事会に諮ったうえで決めたいとの説明があり、承認された。

第4号議案 大学の新生確保と就職支援について

まず18歳人口の減少で大学がどう変わるのか、それに対する文科省の答申内容について情報共有した。続いて母校の新生確保と就職支援について、校友会として何ができるか、プレストによる意見・アイデア出しをした。

活発な意見交換がなされ、リカレント教育について大学はどうするのか。受験生に魅力のある大学とするには、教育の質を高めて卒業生が社会で活躍できる大学にすることが基本ではないか、との意見が大半であった。

報告事項

1. 地域支部長人事

新北陸支部長として岩田史見氏、新栃木支部長として生井克延氏の紹介があり、就任のご挨拶をいただいた。

2. 社会福祉セミナー

寺崎真社会福祉士会支部長より2月27日開催のセミナーについて説明があった。

以上をもって、2021年度第三回幹事会のすべての議事を終了した。

次回、2022年度第一回幹事会は5月28日を予定。

2021年度事業報告

■幹事会関係

5月29日 第1回幹事会（オンライン）
・2020年度収支決算書および監査報告
・コロナ禍における学生支援について、「食プロ」の説明と支援（寄付）

11月20日 第2回幹事会（対面＋オンライン）

・学生6名から「食プロ」の進捗報告
・RKUメールサービス利用の停止について
・緊急事態宣言解除後について各支部長と意見交換

2022年2月19日 第3回幹事会（オンライン）

・2021年度収支決算見込み
・2022年度事業計画及び予算
・校友会として、大学の新生確保と就職支援について意見交換
・地域支部長人事：退任支部長への記念品送付

■大学・課外活動援助関係

7月13日

・東京五輪2020出場選手への激励金援助（大学・後援会と折半）

春・秋学期通年

・「食プロ」学生の食支援活動への援助

2022年2月21日

・社会学科卒論発表会副賞援助

2022年3月9日

・校友会会長賞・記念品援助（サッカー部、硬式野球部、ライフセービング部）

2022年3月18日

・卒業生への記念品援助（後援会と折半）

編集後記

校友会が発足した1969（昭和44）年、この年はアポロ11号の人類初の月面着陸、東名高速道路全通や五百円札の発行開始など輝かしい未来を想像できるニュースで盛りだくさんでした。あの国民的アニメ『サザエさん』が放送開始されたり、日本を代表するスポーツカー、日産「フェアレディZ」発売の年でもありました。人類にとってまさに飛躍の年でした。

さて、2022年も終盤を迎え、コロナ対応を取りつつ社会活動も少しずつ以前に戻りつつあります。一方でこの会報が発行される頃に「第8波」の懸念が示されており、なかなか安心できない日々が続いていますが、どうぞ御身をお大切になさってください。

編集子